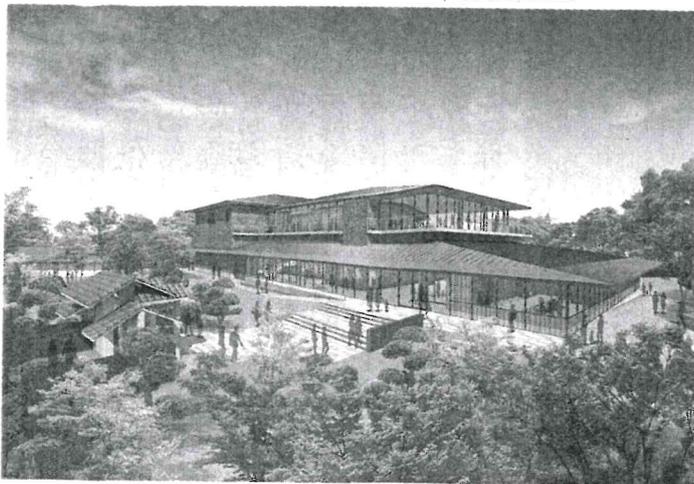
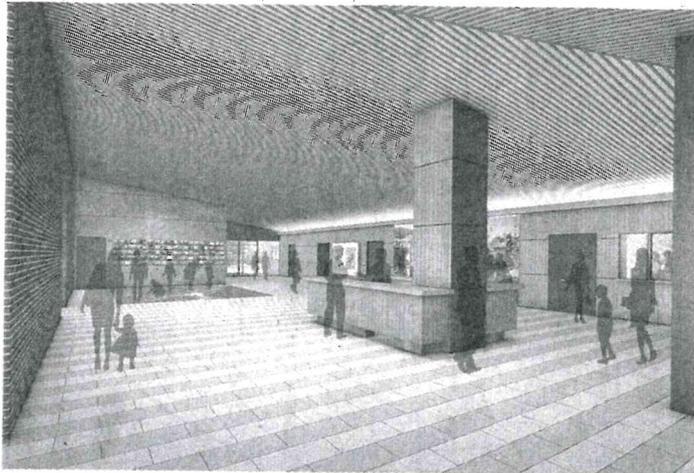


内藤記念館 再整備事業



内藤記念館の完成イメージ



エントランスホールのイメージパース

1/3 19日まで市民の意見を募集

整備費 27億8000万円
年間管理費 1億4700万円

延岡市教委

延岡市教育委員会は、内藤記念館再整備事業の現時点での概要を明らかにした。施設は同市天神小路に2階建ての本館と平屋建ての和室棟などを建設する計画で、整備費(概算)を27億8000万円、年間の管理運営費(同)を1億4700万円と試算している。市民の意見を19日(必着)まで募っている。

概要による一館は旧館のあった約1万に、延べ床面積約3381ト造り一部鉄骨鉄筋コンクリート造り、0平方メートルの鉄筋コンクリート・鉄骨造りの敷地

2階建て本館と、同約191平方メートルの木造平屋建ての和室棟などの整備を計画。

本館1階は、市産材を使ったエントランスホールをはじめ、美術作品や重要文化財なども展示できる企画展示室などを配置。2階には、先史時代から現代までの延岡の歴史・文化を分かりやすく紹介する平常展示室や、昔の人々の暮らしを等身に味わえる体験展示室などを置く。

和室棟は、多様な市民の文化活動や交流の拠点となるよう整備。外構は屋外エレベーターやスロップなどバリアフリーに配慮するほか、亀井神社に続く遊歩道沿いに城壁風の壁などを設け、城下町の雰囲気を出せる方針。日本庭園は既存の植栽を生かして再整備する。

試算した整備費概算は、27億8000万円のの内訳は、本館工事費19億円、和室棟工事費8000万円、外構工事費1億2000万円、屋外エレベーター工事費7000万円、工事監理費6000万円、展示製作費5億5000万円。年間経費(同)1億4700万円のの内訳は、人件費6800万円や委託料費3000万円、光熱水費2100万円など固定経費が計1億2060万円、特別展経費1900万円、収集・保存経費500万円など流動的経費が計2640万円としている。

意見の公募は、市内に居住する人が対象。資料は同市教育委員会文化課、情報公開センター、各総合支所市民サービス課、市立図書館、エンクラ、各コミュニティセンター、市のホームページで閲覧できる。住所、名前、整備事業への意見であることを記載し、窓口提出(文化課、各総合支所市民サービス課)、郵送(〒882-0822延岡市南町2丁目1番地8延岡市教育委員会文化課)フックス(0982-34-6466)、電子メール(bunka@city.nobeoka.miyazaki.jp)を受け付ける。問い合わせは文化課(☎延岡22・7047)。

町内の雰囲気を出せる方針。日本庭園は既存の植栽を生かして再整備する。

試算した整備費概算は、27億8000万円のの内訳は、本館工事費19億円、和室棟工事費8000万円、外構工事費1億2000万円、屋外エレベーター工事費7000万円、工事監理費6000万円、展示製作費5億5000万円。年間経費(同)1億4700万円のの内訳は、人件費6800万円や委託料費3000万円、光熱水費2100万円など固定経費が計1億2060万円、特別展経費1900万円、収集・保存経費500万円など流動的経費が計2640万円としている。

意見の公募は、市内に居住する人が対象。資料は同市教育委員会文化課、情報公開センター、各総合支所市民サービス課、市立図書館、エンクラ、各コミュニティセンター、市のホームページで閲覧できる。住所、名前、整備事業への意見であることを記載し、窓口提出(文化課、各総合支所市民サービス課)、郵送(〒882-0822延岡市南町2丁目1番地8延岡市教育委員会文化課)フックス(0982-34-6466)、電子メール(bunka@city.nobeoka.miyazaki.jp)を受け付ける。問い合わせは文化課(☎延岡22・7047)。

女性歌人5人、延岡へ

11/3
没後90年で来月
トークイベント

「牧水が愛したふるさと」

現代歌壇で人気の高い女性歌人5人が延岡に集い、若山牧水を語るトークイベント「牧水が愛したふるさと」が12月9日午後1時30分から、延岡市の野口記念館で開かれる。若山牧水賞運営委員会委員長・河野俊嗣知事)が牧水の没後90年記念として開催する。入場無料だが、入場には事前申し込みによる聴講券が必要(今月22日締め切り)。

5人の女性歌人は、
全員が若山牧水賞の受賞者で、小島ゆかりさん(第5回、平成12年)、栗木京子さん(第8回、同15年)、米川千嘉子さん(第9回、同16年)、俵万智さん(第11回、同18年)、大口玲子さん(第

17回、同24年)。5人一緒にステージに登壇し、それぞれに牧水の魅力などを語る。イベントは3部構成。オープニングは延

岡市の合唱団を中心に構成した牧水合唱団が、牧水の和歌12首によるソプラノ・バリトンと混声合唱のための組曲「牧水のうた」(寺原伸夫作曲)を演奏する。

第2部が若山牧水賞の選考委員で歌人の伊藤一彦さんの講話、第3部が女性歌人5人によるトークと続く。

入場希望者は、名前、住所、電話番号、申し込み人数(5人まで)を電話、ファクス、電子メールのいずれかで延岡市教育委員会文化課へ(☎延岡22・7047、ファクス延岡34・64308、bunka@city.nobeoka.miyazaki.jp)。申し込み後、聴講券が郵送される。

事前申し込み、22日締め切り



伊藤一彦さん



小島ゆかりさん



栗木京子さん



米川千嘉子さん



俵万智さん



大口玲子さん